

「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『H31 全国学力・学習状況調査(2019.4.18)』結果から～

今年度は、国語、算数の調査が行われました。どちらの教科にも、学校での授業の工夫や家庭での学習支援の効果が表れています。



◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

★国語について

①『学習指導要領の4領域における結果から』

◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のすべての領域で力がついています。

②『特に正答率の高かった問題』

◎ことわざや文章の内容を読み取ることができています。朝の会でことわざを紹介したり、授業で国語を適切に使い伝え合う活動を多く取り入れたりしていることが成果として表れています。

③『課題として』

▲同音異義語を正しく書くことができた児童がやや少なかったです。漢字の持つ意味を押さえながら、同音異義語を区別し、正確に書く活動を取り入れていきます。



★算数について

①『学習指導要領の4領域における結果から』

◎「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」のすべての領域で力がついています。

②『特に正答率の高かった問題』

◎図形の知識、式の意味の説明、グラフの読み取りができていました。授業で数量や図形などについての基礎を確実に理解できるよう丁寧に指導しており、解答について筋道を立てて説明する機会を多く取り入れていることが成果として表れています。

③『課題として』

▲式を計算しやすく変形する問い「 $350-97=\square-100$ 」を答えることができた児童がやや少なかったです。図を使って式の意味を分かりやすく説明する取り組みを進めていきます。

★学習や生活について

◇よい傾向 ◆心配な傾向

《家庭や地域に関すること》

味真野小学校では、

◇地域の行事に、多くの児童が参加しています。

◇新聞を読んでいる児童が多いです。

◆普段(月～金曜日)、起きる時間が決まっていない児童が多くなっています。



《学校に関すること》



味真野小学校では、

◇教師が、粘り強く丁寧に教えてくれると感じている児童が多いです。

◆課題を解決するために自ら取り組んだり、授業で学んだことを生かしたりしている児童が少ないです。

◆算数が好きで、難しい問題にチャレンジしたいと思っている児童が少ないです。

《自分自身に関すること》



味真野小学校では、

◆「自分には、よいところがある。」「よいところを認めてもらっている。」などの自己肯定感を持つ児童が少ないです。毎日の生活の中でこれまで学んだことを生かすことや児童の良いところを誉め、自信を持たせる活動を取り入れていきます。

学力面との関係で分析すると、



◇国語や算数の授業が好きである。

◇家で計画を立てて勉強をしている。

◇読書が好きである。

◇新聞を読んでいる。

と答えた児童ほど正答率が高くなっています。

◆国語や算数の授業が将来、社会に出たときに役に立つ。

◆難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。

と答えられない児童ほど正答率が低くなっています。

